



手をたずさえて奉仕に励もう

ライオンズクラブ国際協会

1983-84

333-C 地区ニュース No.2

愛と知性で日に日に奉仕



YE. サマーキャンプ

公式訪問の旅に出て L石橋 光	2	空の玄関千葉の国際化を願って L林 隆而	13
1983年国際会長プログラム			LEO夏期研修会で広げた友情の輪		
国際協会会長 L ジェムス ファウラ	3	 L山村 政男	14	
キャビネット便り L池沢 稔	5	83年洋上セミナーの思い出 L中川 都弘	16
YE・サマーキャンプ報告 L木村 宏	6	アクティビティス		19
キャビネット構成メンバー 8		元国際会長夫人笙子さんを囲んで L川崎忠男	20
クラブ役員ゼミナー参考プラン L前田慶四郎	12	故村上会長の夢を継いで L吉原 稔人	20

Lions

INTERNATIONAL



公式訪問の旅に出て（その1）

333-C地区ガバナー L 石橋 光

9月3日から第2R、第2Zの習志野LCを含む5Cを皮切りに始めた。ここは前地区ガバナー藤田定男Lを輩出したところでもあるので敬意を表し、順位をイの1番にした。地区運営の甘さも辛さも身の痛むほど心得ておられるので、公式訪問も他人ごとには思われぬようであった。心の底から私たちの気持を汲んでくれた。地区は一体だ、ガバナーを家長とした大家族だという意識が再認識されたようで、そつのない接待を受けた。勿論地区の運営は「愛と和を軸に」が前ガバナー藤田定男Lの持論でもあったので、私たちは安心してこの城に入ることが出来た。

次に船橋LCを含む第1Zの5Cを訪問した。ここもすでに早くパースト・ガバナー斎藤貞雄Lを送り出しているところなので、1から10まで全部お見通しで、私の考え方を理解してくれたことは有難い。初秋といえどもまだ暑い日が繰り返す。白い夏服で旅をしたが、昔から馬子にも衣裳という言葉のある通り、この白服が中味の乏しいガバナーに品をそえた気がする。

次は1Rの番である。1Zから始める。ここは地区最古参の市川LCのあるところで、すでに3人のガバナーが就任している。一寸敷居が高いような気持もあったが、名誉顧問会議長の吉原稔人Lが私の高校（旧制中学）の後輩なので何かと心配りをしてくださり、大船に乗った心地で過ごした。

次は地区で1番インテリゲンチャの多い2-3Zで、批判も多いが話せば解る人達なので胸襟をひらき、腹を割って話した。解ってもらったことと思う。YE活動は地区でも1番活発なところである。今後のライオンズのアクティビティの方向に一指針を得た。ふと北大のクラーク博士の有名な言葉“Boys Be Ambitious”を口走り、このライオンズの将来の発展を念じ“Lions Be Ambitious”といいかえた。ひたすら大志を持ちづけてもらいたかった。ここ1Rでは四回に分けて公式訪問を行ったので、松丸善次郎DDG、今井定吉、中山一三、平川進ZC等のお骨折りは大変であったろう。感謝に堪えない。

これからは批判も少ない代りに反応もこれに正比例す

るであろうと思われる太平洋岸地帯に入ることにした。台風の影響下で何時も雨と行動を共にした。まず坂東太郎の流れに拡がる百万石の穀倉地佐原に足を踏み入れた。昔江戸への米の輸送港として栄えた梯はすっかり消えていた。雨の中の公式訪問のため向後清次郎DDG、牛島静人ZC等のご苦労が手にとるように見えた。

その日の中に銚子へ向った。ここには一泊することになっていたので銚子LCは単独で公式訪問を行った。ここは海の男子（おのこ）達の集りなのでやることなすことが大きく、気持もカラッとしていた。私たちは二次会を軽くお付き合いして、何年振りかで犬吠崎燈台下のホテルに一泊した。台風の影響で中秋の名月は見られなかったが、吟行に来たような安らかな心地であった。「夜もすがら怒涛無月に終りけり」と口走った。

翌朝は早立ちで旭市に入る。ここには4R2Zの5Cが待ち受けておられた。特に宇井パーストDDGは医專時代のクラスメートなのでなつかしかった。雨は一向に止む様子もなく、時には驟雨ともなった。その中を向後DDG、江畠耕作ZC等のご案内で山田町に入り、残りの3Cの公式訪問を行う。静かな田園に住むライオン達は純朴で良い。私も農家の仔として生れ育ったので、皆の心の中が硝子張りに分る。小さいながら精一杯精進している姿が尊い。

次に地区最南端の6Rに入る。館山LCを中心に1Zの5Cが迎えてくれた。ここもYE活動の非常に熱心な地区である。公式訪問は型通りに済ませ、一泊の予定なので二次、三次会の準備が盛り沢山に組まれてあった。今迄にはない型破りで一驚した。旅館は古風な日本建で街騒も全然聞えない閑静なところで、身と心を休めるには絶好のところであった。木村博美DDGも宿を共にした。旅の疲を癒やす心使いがまたまた振っていた。10年も15年も年輩のガバナーの前で全くの平常心である。二驚した。薩摩隼人ならぬ安房隼人である。

一夜ぐっすり眠って翌日は千倉町に入り、ここで静かに2Z4Cの公式訪問を行う。木村DDG、川名進ZC等の温い歓送を身体一杯にうけてお別れした。また違う日を楽しみにして。



1983～84年国際会長プログラム

一手をたずさえて奉仕に励もう—

ライオンズクラブ国際協会会長 ジェームス ファウラー

(前 略)

盲人と手をたずさえよう

私達はみんな独立した有用な人生を生きることから生ずる自己達成（Self-fulfillment）を求めています。このことは盲人についても同じであり、私はみなさんと共に視覚障害者も奉仕できる市民になる能力を持っていてことを自覚させる機会があることを確認し合いたいと思います。

私達は盲人がいろいろな技術の職業訓練を通して自己の現実的条件適応するのを助けることができます。コンピュータ・プログラム、小売、専門職業、カウンセリングなどは、盲人が必要な訓練を与えられれば遂行できる多くの職業の一例です。

私達は社会、業界に視覚障害者が雇用価値があることを知らせなければなりません。彼等は現代技術と高度な訓練方法が盲人に對しかっては視力のある人々のみのものとされていた多くの職業に就かせるようになったこと認識しなくてはなりません。あなたのクラブによる公共社会事業は地域社会の盲人、視覚障害者に機会を与えるためにあたって多くのことができないだろうか。例えば社会に対し盲人は高度に信頼できる雇用者になれることを知らせましょう。彼等は眼の見える労働者より欠勤する気持が少ないし、盲人の転職率は目の見える人の半分以下です。しかし不幸なことに、先進国においてすら、働く年令の盲人の30パーセントしか、その能力に合った職業に就いていないし、成人盲人の75パーセントが失業か未就労であると考えられています。

世界にはライオンズのスポンサーしているリハビリ・センターがあります。個々の職業分野における知識あるいは技術を更に得たいという希望を持っている訓練可能な成人盲人を知っている場合は国際本部の私宛に連絡をとって下さい。私はその訓練実現のためあらゆる努力をします。更にライオンズは盲人のためだけでなく、その他の障害者のためにもより多くのリハビリ・センターを設立する必要があります。この分野でどのように進めるか具体的な考えがありましたら、国際本部の私にご連絡下さい。それを次の段階としてどう進めるか私も考えます。

更に、あなたのクラブは、盲人のためにボウリング、陸上競技、水泳、ゴルフ等のスポーツのレクリエーションの機会を与えることができます。そこで得られた身体の実績と自信は人生の質を高めます。

視覚障害者は援助の手を求めて施し物は求めていません。私達のライオンズは、伝統的に視覚関係の事業を行なってきたので、この手をさし出すのを私達の責任と思うべきです。地区の視力委員長と共同して、クラブが行ない得る最も適切な方法を決めて下さい。クラブが聴力、身心障害者を援助する事業を行なっている場合は、それをどうか続けて下さい。私はクラブが障害者援助のために捧げている努力を弱めようとは思いません。私のプログラムにはこの分野でのライオンズのスポンサーしたすべての事業が含まれています。クラブの会員を励まして、絶望的に援助を求めている人々に新しい方向の手をさしのべて下さい。

手をたずさえて薬害対策を促進しよう

薬の乱用の悲劇は世界中の人々の能力と生命を破壊しています。私達はこの社会的ガンに対する絶えざる注意を推進し、他の人々と協力し合ってそれを根絶し、地域社会に薬害のない環境を用意しなければなりません。親も子もすべての人は、薬乱用の威嚇を理解し、不法の薬が人命をうばわないようにする責任があることを認識せねばなりません。私はみなさんと手をたずさえて、予防による薬乱用根絶の重大な必要性を世界の人々に教えるためのライオンズの方策を実現したいと考えています。薬乱用に対する国際的な経験に基づく推薦により、国際理事会は私達の戦略を採択しました。行動計画の概略を伝える報告書が近いうちに届けられます。

基本的にそれは予防と教育における私達の努力を方向づけています。各地区に薬害対策委員長（Drug Awareness Chairman）を任命し、クラブ、地区、複合地区レベルでそのためのプログラムを樹立するのに助力させます。クラブは地域あるいは国家的に常に柔軟性と変更の余地をのこし、薬害問題を提出すべきです。可能な場合は地域社会の資料およびプログラムを活用すること。各会員は薬害の状況一般と地域社会に対するその衝撃につき精通する。



しかし如何なるプログラムを採用しても、ライオンズらしさは注意深くまもらなければならない。

各クラブは私達の薬害対策プログラムに参加しなければなりません。必要なリーダーシップをとり、会員にインスピレーションを与えて初めて、それは実現されます。そしてこのたたかいの最前線にクラブが立てるか否かを決める中心人物たるクラブ会長があなたです。

手をたずさて糖尿病を絶滅しよう

インシュリンに関連しない全新規糖尿病の80パーセントが予防できたはずだったということは非劇的現実です。糖尿病が増えふえる流れを逆転させようとするなら、教育、早期検出、検診、研究が最も大切です。

検診、と検出のプロジェクトが私達の目的にとって重要です。医療、糖尿病の機関の協力を経て、そのような奉仕クラブが積極的に行なうよう願います。如何にしてこの病気の進行の危険を最小限にするために私達がどうすればよいかを強調し、適度の食事と運動の重要性を社会に知らせて下さい。

糖尿病は工業国では新規盲目の主な病原因であり、すべての地域における主な病気です。したがって研究が必要になります。研究に必要な資金を得るよい方法は4月に行われる年次「視力への道」によることです。視力への道の資金の一部を、糖尿病研究用と指定してLCIFに寄贈することによって、私達の協会がこの病気の治療方法を発見するための指導力を發揮できるように援助できます。この資金により、糖尿病検診、検出を含むクラブの地域社会に対する視力関係のアクティビティを行うこともできます。

クラブ会長は直接にこの問題に直面して下さい。そうすればクラブは、人類を何世紀もの間苦しめてきた病気を打ち勝つに当たってライオニズムを決定的要因にさせることができるでしょう。

手をたずさてライオニズムを築こう

ライオンが多くなれば、奉仕も多くなります。手が多くなれば、私のプログラムの目的ばかりでなく、クラブの奉仕のプログラムの目的もより効果的に達成できます。

クラブ会長はクラブの成長に最も責任を有する人物です。会員がよいライオンになる人物を探し出て入会させるよう励まして下さい。今年は、各クラブが年度始めより少なくとも2名の会員数を増加させて、年度を終了させて下さい。この目的を達成したクラブの会長と会員委員長は私の感謝状を受けることになります。それに加え、クラブはクラブ旗につけるバッチを与えられます。会長の協力と実行が得られるならば、任期中に協会の目的である150万会員が達成されます。私はあなたが本年度クラブの会員を純増させるよう要請します。この目的のための協会の公式プログラムを支持することは重要です。クラブの奉仕能力を拡大するためにクラブ会員委員長を助けるための文書や指導者が用意されます。ライオン誌に掲載される新会員申込書の活用も促進して下さい。それもまた国際本部が用意する資料のうちの1つです。

会長のリーダーシップにより、クラブはまた会員を維持できるでしょう。会員委員会は入会式を再検討して、必要な場合は改善策を推薦したでしょうか。新会員にオリエンテーションを行ないライオニズムに情熱を持たせ自己の責任を感じさせて下さい。会長として各会員に個人的関心を持ち、会員に退会という不幸な決心をさせないようにして下さい。

私達の地区新会員オリエンテーション計画は新会員を退会させないためのすばらしい手段です。元地区ガバナーの新しいパイロット計画を通して、彼らの達見、経験を借りて新会員を入会させ、維持してもらうようにします。

エクステンションも協会の健全な成長にとって大切です。ライオンズクラブのない地域社会を知っていますか。他のライオンズクラブの会合が別な時間に地域社会で行なわれていますか。新クラブのスポンサーはクラブにとってすばらしいことです。地区ガバナーに協力して、これらの可能性を探して下さい。

成長はライオニズムにとって最も重要なことです。奉仕の心を持つ人に世界最大の奉仕団体の会員になる機会をクラブ会長が与えてくれるように私は会長を信頼します。

(後 略)





キャビネット便り

C A B 幹事 L 池澤 稔

前号でも申述べたとおり、開かれたキャビネットをモットーとしておりますので、何でも心おきなく談合できるようにしたいと思います。

これについて御協力ください。

先ず手始めにキャビネットの実情を知っていただくことが必要かと存じましたので、キャビネット便りとして当方の実情を書いてゆきます。

キャビネットとは

複合地区会則第17条2項に、「キャビネットは地区運営方針を決定し、その実行に當る」とあります。

従って審議機関であり、執行機関でもあります。

そして第18条でキャビネット構成員を次の通り決めています。

第1に地区ガバナー、前地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、デピュティガバナー、ゾーンチェアマン。

次はガバナーが必要と認めて任命した委員長であります。即ち当333-C地区の編成では

1. 地区P R情報委員長
2. 会則、会員、E X T 委員長
3. 国際協調、Y E . L C I T 委員長
4. 青少年対策、L E O 、ライオネス委員長
5. A C T 、福祉、環境保全委員長
6. 視力、聴力保護、福祉委員長
7. 指導力開発委員長
8. 地区特別運営委員長

第3はその他ガバナーの任命するものとしては

地区副幹事、副会計、地区副委員長
編集委員、Y E 委員、L E O 委員
P R情報委員

がありまして、その数は

地区ガバナー	1
前、元地区ガバナー	5
D . D . G	7
地区委員長、同副委員長	11
Z . C	15
P R情報委員	7
編集、Y E 、L E O 各委員	6
内局員（幹事、会計、副幹事、副会計）	8

外に委嘱した会計監査委員 2
計 62

この他に年次大会関係で大会顧問、年次大会委員長、副委員長、事務局長、事務局次長の11名が加わります。

キャビネット会議

以上の構成員の方々に参加して審議していただく1983~84年度におけるキャビネット会議は次の5回を予定しております。

第1回	83年7月24日	千葉京成ホテル
第2回	11月27日	千葉パレスホテル
第3回	84年2月5日	千葉京成ホテル
第4回	4月8日	千葉京成ホテル
第5回	6月10日	千葉ステーション会館

以上でございます。

第1回のキャビネット会議は予定の通り開かれまして、昨年度の諸会計の決算が承認されました。

そして今年度の一般会計と青少年育成資金会計の予算が承認されました。

その他今年度キャビネット運営上に必要な諸規定と人事その他の案件が決議されています。

D . D . G 地区委員長会議

去る8月20日にD . D . G と地区委員長を交えての会議が開かれまして、次のキャビネット会議が開かれるまでの間の懸案事項を審議して貰って、資料作りの参考となりました。

Z . C 会議

8月27日には15名のゾーンチェアマンに集まっていただき、いろいろの連絡事項を伝えるの他に献血推進運動やL . C . I . F 献金など実際に業務執行上の協力方を依頼しました。

結びの言葉

以上今日までに開かれました会議で決められたこと、お願いしたこと、知っていただかねばならないことに



についてはガバナー諮問委員会などを通じて、クラブ三役に伝えられる筈です。

そして詳しくは皆様方のお耳にも達する筈です。

然し一方的に伝える示達事項であってはならないと私は思います。

キャビネットの欲しいのは実際の運営上に必要な会員個々の生の声です。

不平や不満がくすぶったまゝではライオンズクラブの発展はないものと信じます。

新入会員よりも退会々員の方が多いマンスリーレポートの集計を見ますと私の心は傷みます。

ライオンズクラブでは上も下もありません。皆同じ組

織細胞の同格の個々であるにもかかわらず、偉いの偉くないのの言葉を聞くと本当に嫌な気がします。

言いたいことがあったらドンドン声を大にして、叫んでください。おそらく言っただけで胸のつかえが降りる事だってあるでしょう。

言いたいこと聞いて貰いたいことがいろいろあり乍らそれが思うに任せないで退会して行くメンバーだってあるのではないでしょうか。

それを防ぎたいのです。どんな不平不満でも結構です。それを聞かせてください。とごとんまで話し合いをしたいと思います。

Y E サマーキャンプ報告

Y E 委員 L 木村 宏

Y E 委員会にとって、今年も慌しい夏がやっと過ぎ去ったところである。地区派遣生の出発、帰国や外国学生の来日、そしてそれに伴うキャンプや各種の行革の実施等、例年のことであるが多忙の日々でありました。関係されましたクラブや家庭に対し心から感謝申し上げます。

青少年交換プログラムは、C 地区内に於いても年々交流する学生の人数や国も、年毎に多くなり、来日学生12名、派遣生が17名、そして交流した国はノルウェー、西ドイツを含み6ヶ国に渡っており、地区として喜ぶべき実績であると思います。

行く人、来る人それぞれ風俗、習慣、言語、思考が異なる青少年が短い、40日間の外国での生活は、彼等にどのような想い出や体験を得ましたであろうか、また、ホスト家庭にとっては一人の外国の学生を通じて、現在、どんな感概に更っているのであろうか。不安やとまどい、そして言葉による意志の不通等多くの問題を残してプログラムが終るもの、また例年のことであります。

Y E と云う青少年交換活動は、多くの人々の手をわざらわせ、多額の費用を必要とし、その結果はどうもはっきりしない等批判の声を耳にすることも事実でありますが、ライオンズクラブの目的は、世界に平和をもたらすことであり、その為には、世界の人々が互に理解をする事が必要なのであり、理解をする為には、実際に自分たちの目でその国を見、人々の生活に触れ、国情や民族の異なる実態を体験することが最も大事なことであり、将来において中心となる青少年をライオンズクラブの組織を通じて、相互に派遣交換をする制度は、その点誠に意義のあるプログラムではないでしょうか。

また、短期間にその結果や、効果を期待すべきもので

なく、交換プログラムを継続して実行することにより、目的に到達出来るのではないでどうか。

多くのクラブが、青少年の健全育成に力を注ぎ、活動を展開しておりますが、これらの問題は一時的なアクトで事を処理すべきでなく、長い時間と多くのライオン達の無駄とも思える永続された忍耐によって結果がもたらされるものであります。

企業に於ける資金や労力の投資は、時には「掛」であり失敗を伴うこともあります、発展と成功を期するには思いきった投資と努力が不可欠であります。

今や日本は経済的にも世界の中で繁栄の基礎を定着し得たに見えますが、反面、エゴやエコノミックアニマルと批判されそのための摩擦も起っております。この原因の一端には、相手の国に対する思い遣りや民族への理解の不足に依ることも多いのではないかと思うであります。

特に先進国は別にしても低開発な発展途上国に対しては今後一層の理解と援助が必要とされる昨今であります。我々ライオンズクラブメンバーは国際組織の一員でもあり、そのため、メンバー、一人一人がどの様な形であれ、国際的な感覚の中で世界人類の為に協力と努力をして行かなければならないかを今一度考えを新にしなければならない時点ではないでしょうか。

最後に今後青少年交換プログラムを更に発展させて行く為には、多くの問題点の中で、特に東洋東南アジア諸国との交換を盛んにして行く必要があり、現在それらの実施に関する検討を始めておりますが地区内各クラブに於きましても国際交流の推進に就いてご検討とご協力を賜わりたく誌上を通じてお願い申し上げる次第であります。



333-C地区

手をたずさえて奉仕に励もう

YEU サマーキャンプ・スナップ



新日本製鐵、君津製鐵所見学説明会



富津のジャンボプールにて



昼食のひととき（新日鐵）



富津公園にて

献血と「献血登録」ACT

1-1 市川LC（会長 L大谷照男）

8月21日市川駅前に於て表記のACTがあった。此の特色は同時に献血登録の受付を同時に行なうもので、献血は視力保護育人福祉事業推進上必須のものであり、現在市川クラブ献血登録者の累計は110名に達している。当日の献血者255名、献血登録者3名であった。



県下唯一の障害児スカウト団支援

1-2 松戸東LC（会長 L安蒜 章）

ボーイスカウト松戸7団は県下唯一の障害児スカウト団である。去る8月5日～4泊5日の日程で兵庫県、生涯教育センターで「全国障害児スカウトキャンプ大会」が開かれた。「ハンデキャップスカウトの明日のために」を合言葉に歩む同団に金10万円を贈り支援した。



お礼に第7団ネッカチーフが贈られた。



手をたずさえて奉仕に励もう

キャビネット構成役員メンバー

(副幹事・会計、会計監査・地区正・副委員長)
(各委員・年次大会正・副委員長・顧問)

(前号に続き)

副幹事 L 竹久定雄 (千葉若潮)



クラブの役職を勤めることも大切な奉仕と先輩Lに教えられたことを念頭に置き、本来の奉仕のエネルギーが阻害されぬよう形式運営が硬直化することなく簡素合理化となるよう又ACT、PRなど斬新な提案の討議や結集力を発揮する熱気をこの1年味わせて頂きたいと思います。

副幹事 L 御園生 隆 (千葉京葉)



ライオンズクラブの行う奉仕事業は、ACTの対象となる人達の悩みや、社会的原因を共に協力して解決していくという基礎の上に成り立っています。キャビネットの一員として各LCが、より以上の奉仕活動が展開できるように、全力で土台を支える覚悟であります。御鞭撻の程を。

副幹事 L 桑田 昭 (千葉中央)



私は千葉中央LCのチャーターメンバーでライオンズ歴18年、石橋ガバナーが会長の時に幹事を務めました。今感ずる事はライオンズ機構と業務の簡素化の必要性と、アワード制度存在意義に対する疑問です。地味でも良いが社会に対するもっと実質的な対応が必要だと思います。

副会計 L 黒川和夫



黒川Lは税理士であり、元キャビネット副会計である。だから、会計の超ベテランである。

それなのに、なんでも私の意見を聞き、私を引き立てようとしてくれる。そのお気持ちに、私は感激している。

軽蔑され無視されれば、私だってムクれるであろうのに。

副会計 L 浅賀豊勝



浅賀Lの腹をたてたのを見たことがない。柳に風である。

彼の特技は居合、剣道あわせて11段。酒は名人クラス。

真夜中に電信柱にかじりついてわめいている男がいる。よく見たら浅賀さんだったという話があるよ、と冗談を言うと、いつも浅賀さんはにこにこと笑って聞いている。

副会計 L 小川 弘



小川Lは、私が会長の時に幹事をつとめてくれ、こんど副会計になってくれた。

また、石橋ガバナーの詩吟の一番弟子であり、家も近くである。だから、ガバナーのお世話を、実によくしてくれる。

小川さんは、ライオンズでは、全くよき女房である。

PR情報委員長 L 高橋 進 (千葉)



なかなか難しい仕事をすることになり、周囲の各Lに特段の御協力をお願いして、この大役を果したい。

皆さんに、よく読んで頂ける地区ニュースにするにも、原稿の投稿をどんどんお願いします。ACTの写真もよいものは、表紙にとり入れてPRに努めたいと思います。

PR情報副委員長 L 潮田 洸 (千葉)



計画に基づき、PR情報委員長を中心、原稿は集められる。編集に関しては素人。然し、堪能な秋元L穴原Lとの共同作業。意を強くしている。読みやすい編集をモットーに1年間努力するつもりです。



手をたずさて奉仕に励もう

会則、会員
委員長 EX T. L 秋山芳三 (千葉エコー)



会員増強はクラブ発展の根本要素であり、これなくして強固な奉仕力は望み得ない。各クラブにおいて夫々秀れた会員の入会を計ると共に、退会を防ぎ会員維持の方策を樹立し「手をたずさて奉仕に励もう」の国際会長のスローガンに向けて格段のご支援ご協力をお願ひ致します。

会則、会員
副委員長 EX T. L 石田六郎 (千葉エコー)



キャビネットの副委員長に任命されまして光栄に思って居ります。任期中はどうぞ宜しく御引立の程をお願い致します。
地区ガバナーの方針であります。会員増強とクラブのエクステンション実現には是非御協力下さい。
この1年どうぞ御支援下さい。

国際協調、
委員長 YE. LCIF L 林 隆而 (千葉中央)



ライオンズ必携によると、国際協会の第1の目的は「世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい發展させる」とある。そのためには世界の人びとが直接ふれ合う場をつくらなければならない。地区、クラブの姉妹関係、青少年交流の開発を主に私の責を完うしたい。乞うご協力。

青少年対策
委員長 LEO. LS L 山村政男 (千葉京葉)



この夏、LEO研修会に参加して体力不足を知った。しかし、これ以上体力を鍛えりや、迫り出した腹がなお強化され、スナックのツケが払いきれなくなる。
せめて、清濁合わせ呑む包容力を養い、LEO・LSクラブを温かくしっかりと育てていきたい。

ACT. 福祉
環境保全 委員長 L 中村哲二 (エコー)



アクト、福祉環境保全委員長の重責を担当することとなりました。本年度のガバナーの方針を体し、具体的な施策を遂行するため、関係役員各位ならびに県下全ライオン各位の絶大なるご理解とご協力を切にお願いする次第であります。

視力、聴力
保護福祉 委員長 L 高原映志 (千葉若潮)



視力、聴力保護福祉事業はライオンズクラブが実施する各種アクティビティの中で重要な位置を占めている。この事業を成功させるためには種々難しい問題もあるが我々はこのアクティビティについて一層認識を高め社会福祉に役立つよう努力したい。

指導力開発委員長 L 前田慶四郎 (千葉)



ライオンズの役職についた途端、会員は一様に熱心になる。これは会員の多数が、折角ライオンズに入ったからには、何かをやりたいと考えている証拠だと思う。クラブにアシスタント制度を設けて、新会員にも仕事をして貰い、その活動を通してライオニズムの習得を考えたい。

地区運営
特 別 委員長 L 矢田常吉 (千葉中央)



平素、感じたり思ったりしておること。
(1) 地区も単位クラブも、その運営を成るべく簡素化すべきである。
(2) アクティビティーはその一部を共同化して大形にすべきである。
(3) ライオンズクラブと言うと、奉仕というが、クラブの目的の5項目のなかで奉仕はその1項目にすぎない。他の4項目にもっと関心をもつべきである。

地区運営
ニュース 副委員長 L 鈴木基寛 (千葉中央)



私は、あまり熱心なライオンズマンではない。昨年度幹事になり好むと好まざると係わらず、たいへん熱心なライオンズマンになった。私は実力行動力、苦労と云う言葉が好きだ。出来る限り頑張ります。しかしそれにグッドスタンディングメンバーになるには、もう十年位はかかりそうだ。

地 区
ニュース 編集委員
L 秋元 勇 (千葉)



地区ニュース編集委員をお引受けし、その重責を痛感しております。私の職業柄多少心得てはおりますが、この仕事は、なんといっても人の和だと思います。各しが立派な会報にしようという、意識がなければだめだと思います。そういう意味でどしどし原稿をお寄せ下さい。



手をたずさえて奉仕に励もう

地区ニュース編集委員 L穴原 博 (千葉)



県内LCメンバーでは一番年令もL歴も浅い方で、CAB委員の重責ある仕事は、まだまだ出来ませんが、先輩各しを見習い、高橋委員長以下、各委員の雑用係りとして、精一杯努力します。今まで知らずに来た、各役職に就任されたL諸兄の御苦労が、かすかに見えはじめてきました。

YE委員 L木村 宏 (船橋東)



一本の明り、一本の小さな明り、それはわずかに身の廻りを照すにすぎない。しかし……。

幾千万と集まれば影と闇とをなくする。巨大な光明となるにちがいない。

「ライオンズの光」の詩の一節であるが、早く明るい世界が来て欲しい。

YE委員 L後藤隆一 (柏中央)



83-84地区YE委員を仰せ付かるに当たり、昨年度中より委員会及び各種オリエンテーション会議を見学させて戴き、予想以上の広範多様な活動内容に触れてまいりました。

333-C地区青少年交換活動の更なる発展の為、微力乍ら精一杯努力させて戴く所存でございます。

LEO委員 L宮川太三郎 (銚子)



健康に恵まれ事業面でも県理事長をされ、曲った事が大嫌いで多少困難な事でも自分の発言に責任を持ち円満に納める不思議な力を持つのです。長年の子供会の経験を生じてレオの育成に務め会長時代にネス委員会を作り「一期一会」の出会いを大切にして温厚で誠実でライオニズムに生きるすばらしい魅力と実力を持つです。

LEO委員 L石井三郎 (富津)



ACTの中で青少年に対するものは最優先されるべきである。YEもそうだが長い時間を掛ける点ではレオの育成が一番である。金や手が掛ると敬遠されがちだが、金はともかく手が掛るからこそ取組む価値があるのだと思う。各クラブで共レオクラブ結成を真剣に考えて欲しい。

年次大会委員長 L飯田 朝 (千葉若潮)



例会、一人のしの発言。私はじっと耳を傾ける。私とは全くちがった「生きざま」から感ぜられる経験と知恵の光り。こうして私はクラブ生活の中で、狭い私自身の経験を反省しものを視る眼を拡げる。力を合せて行う奉仕活動はやがて地域を超える国境をも超え、私自身の人生を彩る。

年次大会顧問 L田中延治 (市原南)



メルビン・ジョーンズは「ライオンズは人を変える」と云いましたが、私もライオンズに入会して人が変りました。奉仕することこそこの世に生きることの証しだることを確信することができました。明日への新しい活力を求めて精進したいと思います。

年次大会顧問 L池田 清 (成田)



魚物に学べ

八本足のタコの母性愛に就いて先日水族館のおじさんが解説して居った面白く聞いて驚いた。カマキリの父性愛は御案内の様に子孫存続の為にメスに食われてしまうのである。万物の靈長たる人間に就いて眞の愛情があつたら少年の非行も減少するのではと思われるが?

年次大会顧問 L西沢貫誠 (千葉京葉)



青少年の非行、家庭内暴力、学校暴力等、あとをたたず大きな社会問題となっている現在、青少年の健全育成について我々はただ手を挙ねいでいるだけではなく真剣に考えねばならない。我々ライオンズは明日の日本を荷負う青少年の健全育成について如何にしたらよいか一考すべきではないだろうか。

年次大会事務局長



L中村勝和 (千葉)



年次大会事務局次長 L 音尾安男 (千葉中央)



入会してから13年。副幹事を2度、幹事も2度経験させて戴き、クラブ内の事も大分わかってきました。今回はキャビネット関係の仕事をさせて戴き光栄です。入会時の会長故根岸Lが親睦の樹に奉仕の花を咲かせようと言っていました。これを胸に私も頑張って行きたいと思います。

1R. PR情報委員 L 川崎忠男 (下総中山)



「失意泰然、得意冷然」
失意泰然、得意冷然と云う言葉がある。簡潔で説得力のある私の好きな言葉だ。我が身に当てはめてみるに失意の事はあっても、得意の事がない。一度冷然とやって見たい気がする。人生離伏74年、晩年に至ってその機は来るかな？あと13年。

2R. PR情報委員 L 渡辺 悼 (習志野)



ある週刊紙がライオンズは田舎紳士の集りと書いたことがある。まことに失敬千万である。しかし反省してみると私自身は到底紳士とは認められぬ。ところでPRだが、ライオンズを正しく認識してもらう途は、会員の自覚と価値あるACTの実践あるのみで、マスコミは二義的である。

3R. PR情報委員 L 牧野肇成 (市原)



私は市原市の片隅で医院を開業しています。医者の宿命で予定が予定にならない間をやりくりしてLC20年になります。LCのPR活動を疑問視していた私が皮肉にもPR情報委員に任命されてしまいました。今となっては最大の努力以外ありません。一層の御指導御協力の程を。

4R. PR情報委員 L 磯村豊司 (飯岡)



千葉県東部の緑と海の12C第4RのPR情報委員です飯岡LCのチャターで未熟ながらC内の役職は一通り終り今回の役に対する責任を深く感じ又各Cの幹事の前向きな奉仕に対し頭の下る思いです。その方々の苦労が実ります様一生懸命筆を取る所存で御座居ます。

5R. PR情報委員 L 松本良夫 (君津中央)



5RのPR情報委員を先輩諸兄のいる中で、浅学非才の私が仰せつかり責任を感じています。CABとクラブのパイプ役になれば幸せです。又5R内のクラブの協力により優秀なアクトをクラブ紙に掲載出来る様にしたい。

6R. PR情報委員 L 鈴木正男 (館山)



石橋ガバナー方針で有る「マンネリ化の殻の脱出」「活性化を計る」等をふまえ、6RのPR活動を通して、クラブPR委員の御協力を得て広くニュースを求め、より良き「地区ニュース」が出来ます様に6R・PR情報L諸兄共々頑張ります。

7R. PR情報委員 L 後藤千代吉 (東金)



例会皆出席7年。この間会長を除いた各職をライオンズ先取の精神で立派につとめた熱血漢で行動派のLである。全員一致で推薦され真価を發揮する時が来た。柔道講道館六段ゴルフ、スキー等万能選手で又囲碁将棋、も好敵手多数で交際も広いし種々な意味からしてもPR情報委員に最適である。

地区会計鑑査委員 L 大嶋明弘 (八千代)



ライオンズクラブとの出会いは習志野LC鈴木Lや有志の方々のご指導を受け八千代LC結成のときでした。何分にも大正生れの無骨物生甲斐を求めながら突進いたしております。家庭は妻と2人暮し、仕事は千葉市において長男と共に会計事務所を経営いたしております、よろしく。

地区会計鑑査委員 L 渡辺貞雄 (習志野)



前年度は大変不出来な会計でしたが、皆様のお蔭でなんとか無事に務まり、感謝致して居ります。逢う度毎に好きになる石橋キャビネットのため、少しでも御手伝い出来ればと願って居ります。執行部の皆さんのが苦労を察しながら、職務には忠実でありたいと思います。



クラブ役員ゼミナー参考プラン

地区指導力開発委員長

前田慶四郎

クラブの役員および委員長のために、国際協会はつぎの講習会参考プランを用意しております。

講習会リーダー 当該 会長

A 出席者 役員 委員長（以下役員等という）

B 資 料 1. 会長必携

2. 役員等の資料（必携内）

3. 国際会長の年間プロ

4. ガバナーの年間プロ

5. クラブ会長の年間プロ

C 準 備 1. クラブの年間プロ

2. 役員等への適切な指示

3. 役員等の目標設定

4. 講習会前に資料の提示

D 議 題 I 会合の目的

a. 役員等の任務の討議

b. 特定（本年度）の仕事の割当

c. クラブ目標に関する説明

d. 目標達成に必要なチームワークの説明

II 役員等の任務

a. クラブ内の仕事の進め方

1. 予算の立て方

2. 資金の要求の仕方

3. 援助の受け方

4. 会長と役員は、委員会に何を望むか

b. 委員長が何を期待しているかの説明

1. 定期的委員会々議の開催

2. 革新的考え方の奨励

3. 理事会宛、定期的 A C T の報告

4. 任務の分担によるリーダーシップの

養成

5. 例会で、A C T の中間報告

6. 年間予定を理事会に提出

III 年間クラブ目標

a. クラブ運営計画

b. 国際会長、ガバナー、クラブ会長のプログラム

c. 資金獲得事業とその収入予算

d. 奉仕プログラム

e. 会員増強と会員参加

f. 役員等の目標

g. 楽しい例会

h. 効果的な P R

i. チームスピリット

以上についてはつぎのことが必要です。

1. 役員等の目標確認

2. 役員等の機能確認

3. 仕事の分担

4. クラブ副会長復帰届確認

IV 質問と答弁

自由討論

V 結 び

参加者全員がリーダーたることの自覚

ところで、リーダーシップを養成することの最大メリットは、この素質を有する者は、確信を持って自分の進むべき道を見極めることができます（国際協会リーダーシップテキスト3頁）

而るに、ライオンズの役員は一年交替で、誰しも与えられた職責を事前に深く習得する機会がないのです。確かに、年度変りの三役スクールなど申証程度のものに過ぎません。これはライオンズの規則や組織上全く止むを得ないことかと思いますが、徒らに手を拱いて傍観しているわけには行きません。

リーダーシップの素質は、多くの場合、経験をへて習得が可能とされます。習得する機会に恵まれない会員に、凡そこれを求めるることは不可能に近いというべきでしょう。ここにクラブレベルにおいての効果的スクールの必要性を痛感するものであります。その方法考え方について次号に意見を述べてみたいと思います。



JOIN HANDS IN SERVICE

手をたずさえて奉仕に励もう

空の玄関千葉の国際化を願って

国際協調、青少年交換LCIF委員長 L林 隆而

国際協調、青少年交換(YE)、国際財団(LCIF)の委員長になって、早くも10月31日現在で4ヶ月を経て任期の1カ年の3分の1が過ぎてしまった。幸い前委員長の木村氏と後藤委員のお蔭で何とか無難に(?)決められたプログラムは消化しているものの、国際関係のプログラムが千葉県下に浸透しているかというと、はなはだ心もとない。

まず気がついたことは、千葉県下でここ数年間、わずか2、3人の委員で、このもっとも国際的にむずかしいプログラムの実施に苦労されていたということである。一步誤れば国際的に誤解が生じ、国際問題にもなりかねない。それだけに経験と異文化に対処する研究が必要とされる分野である。国際社会に奉仕するライオニズムの浸透を図ろうとすれば、各リジョンに1名の担当委員の配置は必要であろう。

たまたま手元にある全国ライオンズ会員名簿で全国の地区の状態を調べてみた。地区のリジョン数と委員長の数は次の通りである。

地区名	地 域	R数	委員	長	国	合計
330-A	東京	11	11	1	1	13
	B 神奈川・山梨	9	9	2	2	13
	C 埼玉	5	5	1	2	8
331-A	北海道中	4	4	1	1	6
	B 北海道北	6	2	0	0	2
	C 北海道南	4	4	0	1	5
332-A	青森	4	3	1	1	5
	B 岩手	5	3	1	1	5
	C 宮城	5	5	1	1	7
	D 福島	6	6	1	1	8
	E 秋田・山形	6	4	1	2	7
333-A	新潟・群馬	8	8	1	(1)	9
	B 茨城・栃木	11	11	1	(1)	12
	C 千葉	7	2	1	(1)	3
334-A	愛知	6	8	2	1	11
	B 岐阜・三重	3	3	2	1	6
	C 静岡	4	4	2	1	7
	D 富山・石川・福井	6	2	1	9	
	E 長野	4	4	2	1	7
335-A	東兵庫	5	5	3	1	9
	B 大阪・和歌山	12	12	1	1	14
	C 滋賀・京都・奈良	5	3	3	11	
	D 西兵庫	4	10	1	1	12
336-A	四国	5	5	1	1	7
	B 鳥取・岡山	5	5	1	1	7
	C 広島	5	5	1	1	7
	D 島根・山口	6	6	1	1	8
337-A	福岡	5	5	1	1	7
	B 大分・宮崎	3	3	1	1	5
	C 佐賀・長崎	3	3	1	1	5
	D 熊本・鹿児島	3	3	1	1	5

(注) R数…リジョンの数
委員長…国際協調委員長
印…リジョン数より担当委員数が少ない地区

国際協調、青少年交換はライオンズクラブの事業の中でも、直接世界につながっているものあるが、外国のライオンズクラブは果してどのように国際協調をとり上げているのであろうか。

次のようなアンケートを世界各国の国際協調、青少年交換の委員長、各地区ガバナーに送ってご意見をうかがってみた。いずれその結果が本ニュースに発表されることになろう。

— アンケート —

I 国際協調関係

- あなたの地区ではどの位の数のクラブが外国のクラブと姉妹関係を結んでいるか
 - 5以内
 - 5-10
 - 10-20
 - 20以上
- 姉妹クラブはどの国と結ばれているか
国名 (1. 2. 3. 4.)
- 将来外国の地区と姉妹関係を希望するか
はい () いいえ ()
- はいの場合どの国と姉妹関係を希望するか
1. 2. 3. 4.
- あなたの地区的青少年交換予定数 (1984年度)
a 派遣数 名 b 受入数 名
- 次の国際協調関係アクティビティの中で関心のあるものに×印をせよ
() a 姉妹クラブ () f ペンパル
() b 姉妹地区 () g 姉妹都市
() c 青少年交換 () h 文化交流
() d 成人交換 () i その他
() e 國際ユースキャンプ

II 例会関係

- 例会はふつう何時間かけるか
a 1~2時間 b 2時間以上
- 例会に国歌を歌うか
a はい b いいえ
- 例会中に何を歌うか
()
- 例会の最後に何を歌うか
()
- 乾杯をするとき何語で何というか
() a 自国語で b 英語で
- ライオンズロアードが必要なとき行なうか
a はい b いいえ c 時々
- ライオンズ帽は儀式のとき着用するか
a はい b いいえ c 時々
- 非英語圏で次の職名を何といっているか
a) テールツイスター b) YE
c) ゾーンチエアマン d) D D G
e) ガバナー



L E O 夏期研修会で広げた友情の輪

青少年対策(L E D) L S委員会委員長 L 山村政男

333-C地区の青少年対策の一環として「レオ夏期研修会」が、さる8月17日から19日までの2泊3日の日程で君津市鹿野山常緑平で行われた。参加者は、市川東、銚子、富津、君津の各レオクラブ員46名(小中高生の男女)、それにレオ委員の各ライオンも参加した。国連コミュニケーションのこの夏、レオたちが規律ある集団宿泊のなかで繰り広げた友情の輪をリポートする。

多彩な厳しい日課

研修地は房総の連山を一望に見渡せる鹿野山で、海拔352メートル。前日からの台風5号の接近に伴う豪雨に、研修会の開催が心配された。しかし、「習志野市立鹿野山少年自然の家」は、教育施設だけあって立派なホテルのようで心配は無用であった。

開会式は、L石橋ガバナーはじめ地区役員、地元LC(富津、君津)のレオ委員らが出席し、レオ代表(市川東会長レオ鶴岡)の打つ開会ゴングで研修会の幕が切って落とされた。

先ずレオたちは、クラブ交流と友情の輪を広げる目的から、所属クラブに関係なく班ごとに編成。そして2泊3日のスケジュールの中で、次のような多彩な日課で活動を展開していった。

午前6時起床、朝のつどい、清掃、朝食、学習(体力増強を兼ねた野外活動)、夕べのつどい、係活動(配膳や寝具類の準備)、夕食、学習(アトラクションの交歓会=屋内)、入浴、小夜食(地元LCから親心の差入れ)、午後9時30分就寝消灯。しかし、眠れずに騒ぐレオもいたが、30分を過ぎたころシーン。ここでレオ委員の各ライオン、「ホッ」とする一場面である。

最終日の19日は、いよいよ疲れもピーク。いや、これは腹の突き出た委員長ライオンであった。そのうえ、天は新たな試練を課してきた。台風去っての猛暑再来である。山の上とはいえ、頭の中の水分が蒸発してしまうような感じで、階段を上るのもヨタヨタであった。

さて、フィナーレ(終幕)を飾る全長約2.5キロのコースでオリエンテーリング競走がスタート。これは、時間を競うだけではなく、各チェックポイントごとに用意されたクイズを班ごとに知恵をしづって、その結果を争

うもの。が、コースは蒸し風呂のような林道である。レオたちは各班ごとにゼッケンをつけ、そのコースの中へと消えていった。あまりの暑さに各ライオンは心配していたが、落後者のレオは一人も無く、あどけない微笑を浮かべ、全員無事にゴールイン。そこにレオたちの力強さを見た。

地区、地元レオ委員の各ライオンも、もちろん、大変であった。アクシデントに備えて万全を期し、脂汗を出しながら指導に余念がなかった。その際、冷房の利いたクルマで賞品の仕入れの道すがら、役得とばかり、房総の連山を景観して楽しんでいたのが委員長ライオンなのだ。スマセソ。

思い出多い共同生活

今回の研修会は、台風やら猛暑の厳しい中で、テレビ、ラジオ、新聞のない世界に閉ざされた“耐乏と辛抱”的共同生活であった。しかし、レオたちが家庭では得られない、思い出多い何かを肌で感じ得たであろう。見知らぬ同志の出会い、班ごとのいたわり合い、心遣いなどの思い出が、かけがいのない素晴らしいことだと判るのは、ずっと後のことであろう。

ともあれ、レオも親ライオンも一緒に学んだ研修会は無事に終わった。そして一生懸命に頑張ったレオ諸君に「よくぞやった」と、心から拍手を贈りたい。

秋の気配も漂い始める今日この頃、ふと、シンディ研修会であったことが、懐かしく、さわやかに蘇ってくるのを覚える。この心境は、恐らくレオ委員のライオンでなければ判らないことだ、と、一人悦に入っている。

あのムレムレの部屋で各ライオンはパンツ一枚で、寝食を共に、酒も呑まず(ウソ)、夜を徹して話題がはずんだ。そこには、LCを思う情熱があった。清濁合せ呑むという包容力もあった。その豊かな愛情の裏づけがレオクラブ、LSクラブを躍動し続けさせる原動力と觀た。また、人間不信の世に、ひさびさで人間の温もりにも接し得た。ご満悦のみ。

最後に、レオ委員の各ライオンに心から感謝申しあげ、冬期研修会も宜しく願うものである。

(9月7日記)



■手をたずさえて奉仕に励もう■

333-C地区

ＬＥＯ研修会スナップ

(1983年8月17~19日)
於：君津市・鹿野山



開会式、L.石橋ガバナーの挨拶（初日）



食事は、レオもライオンも関係なく
一番楽しいものである（夕食）



雨のため、屋内でのキャンプファイ
ヤー（交歓アトラクション＝初日）



オリエンテーリング競走に参加したレオネ
ット（女）も元気でゴールイン（最終日）



6.3キロ、雨と風のハイキング（2日目）



オリエンテーリング競走の入賞チームに、
100円の賞品。えっ、少ない？。金では
ありません、心です（最終日）



富津LC手配のマイクロで見学（2日目）



レオ委員の各ライオン、熱心な打合せ
(朝昼夜)



手をたずさえて奉仕に励もう

青少年健全育成

83年洋上セミナーの思い出

333-C 地区 7 R 1 Z
上総一宮 LC L 中川都弘



地域社会、地域住民及び学校関係者より、大きな期待をよせられ、茂原・市原両青年会議所が合同で主催する、洋上セミナーは、今年で第5回目をむかえ、我が上総一宮ライオズクラブが、この事業に、初めて協賛致しました。私は5泊6日のこ

のセミナーに同行し、つぶさに観察して、まいりました。

昨日まで、全く知らなかった千葉の中学校2年生の男女157名が、期待と不安で、むかえた7月27日、茂原と市原に集合、一路、東京有明のフェリーターミナルへむけ出発。午後11時30分出航、遠い北海道、苫小牧へと旅立ちました。東京港をぬけ、銚子沖で朝をむかえた。

ラジオ体操、朝食後色々なセミナーが、始まる。

海洋セミナーでは、田辺英蔵先生の「ヨットマンのマナー」で責任は問うものではなく、負うものである事や人生とは、自分の運命の責任は、自分がとる以外にないと言うまとめの言葉、道徳セミナーでは、手話の第一人者、丸山浩路先生の「心のふれあい」特に生きている事のすばらしさを、情熱をもって力強く話された。次に齊藤嘉一先生の、聞き上手な人になる様にとの提言が、友情の輪を広げる基本である事を話された。元トワエモア

の白鳥御夫妻による歌とお話しの音楽セミナー等、数々のセミナーを消化し、人間形成を学んだ事でしょう。

期待と不安だった洋上セミナーも時がたつにつれ、夢と希望に、満ちあふれた表情になる遠い北海道はもう、陸が見える。あれが苫小牧だ。29日早朝6時到着、初めて北海道の大地に足をふみ入れた子供達……。苫小牧港より、バスにて上田牧場へ「朝食及び見学」、登別温泉では「見学と入浴」ここから、ポロトキャンプ場へ、午後1時、まちにまたったキャンプ場へ到着、心うきうき、胸はどうきどうき、北海道苫小牧、白老の子供達154名とJCメンバー

約50名、陸上自衛隊約50名、各リーダー20名、計約270名が林道の両わきに整列、拍手で出迎えてくれた、感動の一瞬でした。

いよいよ入村式が始まる。昨日まで全く知らなかった子供達311名が、合流、





石沢野営長の指揮のもとに、3日間のキャンプに入る。

野営長の第一声は、君達は燃えているか、太陽は、いつも燃えている。君達も太陽の様に、おもいきり燃えろという言葉から始まり、いつの間にか、子供達の心の中に完全に入り込んでしまう、不思議な魅力にひきこまれました。その後、名刺交換会が行なわれ、新しい友達をもとめて、各々が作った名刺を交換して歩きまわる姿、サマー・キャンプガイダンス講習会では皆楽しそうに踊っている。夕食後、「交換のタベ」では、白鳥御夫妻による2時間にわたる歌とお話しが行われ、新しい友達同志は、楽しそうだった。その後、各班に分れ、反省会が行われ、消灯となった。

30日睡眠不足と、疲れと遠く郷里に想いをはせるホームシックとが、ごちゃまぜになって長い夜が明ける。午前6時起床、6時30分よりラジオ体操が始まる。昨日から降り続く雨は、ジトジトと背を濡らす。大自然の草原

に降る雨に打たれて組む朝の座禅、朝食後、種々の企画に分れたモーニングスクール、対話集会と雨



の中すべての行事は、計画通り遂行される。

昼食後、悪天候の中ポロト出岳を10人1組で駆けるタイムラリー

ワイドゲームが強行される。1人1人が時間を本当に大切にしながら、根性、積極性、協力性を思う存分發揮していた姿は実に美しく頬もしかった。

夕食後、楽しみにしていたどさん娘祭に出発、小雨の林道を、大声で歌いながら歩いて1時間、ポロト湖畔で行われた。

アイヌ民族の莊厳な儀式、湖上を舟で渡って来た御神火、敬虔なアイヌの祈り、御神火から移された松明を、子供達が持ち、お客様と合せて数百人以上の松明行列が延々と続き、すばらしい夜景でした。

その後、アイヌ民族芸能を観賞、皆、忘れる事の出来ない、すばらしい思い出になった事でしょう。再びキャンプ場にもどり、まちにまたのキャ



ンプファイヤーが始まる。高さ5メートル以上も、あろうかと思われる

ファイヤーが赤々と燃え上る。子供は疲れを忘れ歌い踊り、明日でお別れだね、今日が最後だね、子供達の目を見ると涙がおちそう、汗だくになって踊ったジンギスカン、男女の関係なく肩をくんぐで歌った、「友よ」「シャロム」新しい友との友情を深め、すばらしい感動を体験した事と思う。

31日、いよいよ別の朝がやって来た。テント撤収キャンプ場清掃を終え、閉村式をむかえる。子供達は互いに握手し、だきあって別れを、おしんでいた。だれの目にも涙がいっぱいでした。午前10時ポロトキャンプ場に別れを告げ、一路、苦小牧フェリーターミナルへ。

ここで劇的な場面がまっている。乗船した千葉の子供達に、見送りに来てくれた北海道の子供達、岸壁から、船上から、五色のテープに記した感動の別離、さようなら、さようなら、互に泣きながら友達の名前を呼び、離れる船を追いかける子供達、甲板から身を乗り出して呼応する千葉の子供達、船が、陸が、見えなくなるまで手を振って別りを惜んでいました。JCメンバーも、講師団も皆、子供達と一緒に泣きました。たった2泊3日の野営キャンプの出会いだったのに、なにがこんなに彼等を感動させたのであろうか?涙を忘れ、感動することを忘れたといわれる現代っ子にも、暖かい血が歴然と流れている事を、目のあたりに見て、私も目が熱くなった。

船中のようになった、千葉の子供達は帰路にむかった。昼食をすませると、レクリエーションセミナーが行われたのち、演芸大会の準備が始まる。

各班に分れた子供達は、それぞれ考えた演芸を楽しそうに発表していた。

三陸沖を通過する頃、朝をむかえる。午前7時甲板でのラジオ体操も元気いっぱい。



JOIN HANDS IN SERVICE

手をたずさえて奉仕に励もう



丸山浩路先生の心のふれあいセミナーを終了後、甲板での楽しい昼食会。

別れも間じか、各班の班長として、ジュニアーリーダーの不眠不屈で活躍された先輩の献身的な努力が、この事業の成功をおさめたと思う。燃えきった青春「友よ」「シャロム」を歌う顔に涙がいっぱい。

午後7時東京有明埠頭に到着。5台のバスに分乗し家族の待つ市原、茂原へ。

午後9時市原に到着。到着式が行われ、市原と茂原の子供達の別の時が来た。一人一人が握手し、泣きながらだきあっている姿、言葉にならない声、どこをみても、涙涙涙、大人も子供と一緒に泣きました。ある中学の校長先生は、今の中学生は泣かないと思った。でも泣くんだけねえと話しておられました。私は今の子供達は、涙はもっているのですが、その涙の出し方を知らないのだと



思います。涙の出し方を覚えた311名の子供達でした。生きがいを求め、美しい過去を自分の心に刻む事の出来た83年洋上セミナー体験こそ、素晴らしい貴重な財産として生涯忘れる事の出来ない青春の1ページです。この体験と思い出を、後輩達に語り続ける事でしょう。恵まれすぎた今の子供達に、忘れ去られた「感動」の二字を呼び起させてくれた、青年会議所の方々に心から感謝せざるにはいられません。わずか一週間で、すばらしく成長した子供達でした。

青少年の非行問題が、大きな社会問題となっている今日此頃、青少年健全育成こそ、緊急の国民的課題であります。ライオンズクラブは、奉仕団体であり、世の中の恵まれない方々の為に、自からの労力と、時間と、資財をささげる団体であります。しかし、我が国では、青少年健全育成事業に、もっと大きな力を、そそがなくてはならないのではないかでしょうか。しかし、この事業ほどむずかしい事はありません。考えついた事業を、一つ一つ消化してゆく以外にありません。そして良い結果を得た事業を推進してゆく以外にないと考えます。又洋上セ



ミナーの様な大事業には膨大な労力と時間が必要であり、高齢者の多いライオンズクラブが主催する事は、大変困難であり、若いJCメンバーであるから、成し得る事だと考えます。

全国のライオンの皆様、どうか自からの立場を考えず他の団体が主催する事業であっても、それが素晴らしい事業であり、世の為、人の為になるならば、積極的に参画してゆかなければならぬと考えます。

日本の将来を考え、その将来を背負って行く青少年のために、どうか尚一層の御努力を心から御願い申し上げます。

尚、83年洋上セミナーが大成功によって終了致しました青年会議所の皆様に心から感謝申し上げ、この事業をいつまでも、いつまでもお続け下さる事を祈ります。





手をたずさえて奉仕に励もう

アクティビティス

333-C地区第4R P.R.情報委員 L磯村 豊 司(飯岡LC)

佐原LCの8月のACTの報告を致します。

佐原LCの奉仕活動の範囲内に県下でも有数の身障者ならびに孤子の施設、香取学園が御座居ます。この園児120名を九十九里浜の蓮沼子供の国へ御招待申上げました。参加メンバーも50名の多きをかぞえ、園児の手足となり喜々として遊ぶ子供の姿に満足して一日の里親役を努め御土産を沢山頂いて帰る園児等には微塵の暗い影

はなく、来年への期待を満面に見せており、ライオンズマンとしてこの奉仕に参加出来たことの誇を高めた一日でした。

◎ このACTは当初個人の熱意で行なわれておりましたが、佐原LCが変って実施する様になり、10有余年なり継続事業とし毎年実施しております。

333-C地区第4R P.R.情報委員 L磯村 豊 司(飯岡LC)

旭LCの8月のACTの報告を致します。

9月9日実施の予定の敬老浪曲大会のACT資金獲得のチャリティーバザールが市の中央公民館にて行なわれました。全員の持ち依りの品々は午前中で消化され、多額の資金を集める事が出来、会員も30名の多くの参加を見て成功裡に終了しました。見事な奉仕に意を強く致し

ました。

夏季休暇中の水難防止の一助としてボイイスカウト水泳訓練に対して自動車用チューブを寄贈し水の恐さについて指導し、犠牲者の一名も無い事の願をこめて、会長以下10名の会員参加で贈呈式を行ないました。

チャリティーバザール



中古チューブ寄贈

333-C地区第7R P.R.情報委員 L後藤千代吉(東金LC)

第7R・第1Z・アクティビティ・1983年7月31日
第4回白子町青少年水泳大会 主催・白子ライオンズクラブ 町ぐるみ青少年健全育成が重要視され、社会を明るくする運動が展開されている期間中で、白子ライオンズクラブの主催で第4回青少年水泳大会が白子中学校プールで開催された事は大変、意義深いものがあります。
参加者は年々増加し、本年度は125名でプールサイドの観衆も満員の盛況さであった。参加者全員に参加賞、個人戦にはそれぞれ1位、2位、3位の個人賞、そして団体戦には団体の賞を贈呈する。昼食等もクラブで用意して、大変喜ばれ、楽しい大会を事故も無く終了致しました。





手をたずさえて奉仕に励もう

元国際会長夫人笙子さんを囲んで 故 L村上 薫を偲ぶ

元国際会長故L村上薰、夫人笙子さんの上京を機に去る8月11日赤坂景得飯店にて、元国際会長を偲ぶ会が持たれた。当日は石橋ガバナーを始め藤田前地区ガバナー、吉原名譽顧問会議長、榎元ガバナー、杉浦元ガバナー、等の御出席があった。尚経緯については別稿のお願いをし、関朕の写真を用意したものである。

(I R P R情報委員L川崎忠男)



L村上 薫夫人と石橋ガバナー
(赤坂景德鎮にて)

故 村上会長の夢を継いで

333・C地区名譽顧問会議長 L 吉原稔人

今にして思うと死期が近づいた昨秋、L村上は、伊豆の病床で、笙子夫人に一つの夢を語ったという。

『来年になって軀がよくなったら、4月に浦安にデズニーランドがオープンするし、孫達をつれて思いっきり楽しませてやろうよ。』その願いは、突然の病状の悪化と共に、夢のまゝはかなく消えてしまった。

この話をきいた当地区スタッフと浦安Cは、村上ご一家が上京の折、故会長の夢を継いで、デズニーランドご招待を企画した。8月11日の夕食会は地区スタッフが、そして、翌12日のデズニーランド見学は浦安Cがホストすることになった。

笙子夫人よりのお礼状には次のような言葉があった。
『皆様がいろいろ主人の想い出を語っていただき、今もこんなに主人のことを思って頂いているのかと感謝致しております。京都に帰りまして、孫達はデズニーの話に花を咲かせております。主人もさぞかし泉下で感涙にむせんでおりますことと思います。』

ささやかながら故村上元会長の夢を継ぐことが出来て良かったな。その素朴な安堵感が、ホストを担当した人々の実感であった。

お知らせ

◎ 物故会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
浦安LC 故 L 新井 精一
(昭和58年9月3日)



国際協会第3副会長当時 333-C 地区公式訪問
(木更津)



国際会長当時 333-C 地区公式訪問
(高輪プリンスホテル)

あ と が き

遅くなりましたが第2号をお届けします。各地区での活発なアクティビティ。数多くの写真を送っていただきありがとうございました。誌面の都合で全部を掲載できなかったことをお詫びします。何卒ご了承下さい。今後共、ユニークな記事等がありましたらお送り下さい。

(編集者)